

水泳 編

水泳は学校生活の中に取り入れられている一方で、その活動中に死亡や重度の障害を負う事故も発生しています。



急に泳ぎが止まる

体育の授業で10分間の準備体操の後、水慣れを行った。その後、グループ別指導で泳ぎだしてから約20m付近で急に泳ぎを止め、浮いた状態になった。

(小学校3年 死亡)



腰の痛みを訴える

体育の授業で準備体操を行い、シャワーを浴びた後、ウォーミングアップとしてバタフライを選択し、25mを泳いでターンをした後、「腰が痛い」と訴えた。横になり休んでいたが痛みが取れず、背中中の痛みを訴え続けるため、救急車を要請した。

(中学校1年 死亡)



プールの底に頭を打つ

体育の時間、水泳の練習をしていた。フリー練習となり、本生徒はプールサイドから飛び込んだところ、入る角度が鋭角だったため、頭頂部をプールの底に打ち、頸椎を損傷した。

(中学校3年 障害)



排水口に吸い込まれる

夏休みの水泳指導中、本生徒は友人数人とプールに入り泳いでいたところ、循環排水口(45×45×48cm)に足を吸い込まれた。助け出そうと引っ張ったが足が抜けず、給水栓を閉め循環ポンプの電源を切ったものの足が抜けなかった。その後消防車で水をくみ出し、ようやく救出した。

(高等学校1年 死亡)

プールサイド等でも注意しよう!



プールサイドで転倒

水泳の授業中、使い終わったビート板を次の人に投げて渡したところ、バランスを崩しプールサイドで前歯を打った。

(中学校1年 障害)



マンホールに転落

プールに水を入れるためにマンホール(深さ65cm)の蓋(直径60cm)を約2/3開けておいたため、見学していた生徒がその中に落ち、右脇腹を打った。

(中学校1年 障害)